

注3

大学番号：私297

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東海学園大学 人文学部 心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東海学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	教務課
教務課長	ハヤシ ヒロタカ 林 弘隆
総務課長	ホッタ ハジメ 堀田 一
電話番号	052-801-1201
（夜間）	052-801-1383
F A X	052-804-1044
e-mail	n-kyomu@tokaigakuen-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東海学園

(2) 大学名

東海学園大学

(3) 大学の位置

〒468-8514

愛知県名古屋市中平区中平二丁目901番地（愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミズタニ コウショウ) 水谷 幸正 (平成19年1月)	(ソデヤマ エイシン) 袖山 榮眞 (平成26年2月)	理事長死亡に伴う変更 (26)
学長	(ソデヤマ エイシン) 袖山 榮眞 (平成21年4月)		
学部長	(アオヤマ ヒロシ) 青山 広 (平成26年4月)		
学科長等	(カワノ カズアキ) 河野 和明 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
平成26年度に報告する内容 → (26)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 心理学科 学士(心理学)	4年	100人	3年次 2人	404人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.06倍	
志願者数	484 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	478 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	353 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	106 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.06											

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 106	[-] —	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/				/		[]	[]	
計			[-] 106	[]			[]	[]	[]

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	106 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	106 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文学部 心理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 科 目	共生人間論Ⅰ	1前	2								兼1	
	共生人間論Ⅱ	3後	2								兼1	
	共生人間論実習A	2・3前・後 未開講		1							兼1	
	共生人間論実習B	1・2・3・4前・後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	共生人間論実習C	1・2・3・4前・後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	共生人間論実習D	1・2・3・4前・後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	共生人間論実習E	1・2・3・4前・後		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(バドミントン)	1前・後		1							兼2 兼4	コマ数再考による変更(26)
	スポーツ(テニス)	1前・後 未開講		1							兼1 兼3	コマ数再考による変更(26)
	スポーツ(バスケットボール)	1前・後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(バレーボール)	1前 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(サッカー)	1前・後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(ソフトボール)	1後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(ゴルフ)	1前・後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(スイミング)	1後 未開講		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(エアロビクス)	1前・後 未開講		1							兼2	履修希望者がいなかったため(26)
	スポーツ(アクアビクス)	1前・後		1							兼2	履修希望者がいなかったため(26)
	競技スポーツⅠ	1後		1							兼1	
	競技スポーツⅡ	2後		1							兼1	
	競技スポーツⅢ	3後		1							兼1	
日本文化(書道)	1・2・3・4前・後		1							兼1		
日本文化(茶道)	1・2・3・4前・後		1							兼1		
日本文化(華道)	1・2・3・4前・後		1							兼1		
日本文化(舞踊)	1・2・3前・後 未開講		1							兼1		
日本文化(能)	1前・後		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)	
日本文化(歌舞伎)	1後		1							兼1		
日本文化(陶芸)	1・2・3 未開講		1							兼1		
日本文化(武道)	1前・後		1							兼1	履修希望者がいなかったため(26)	
群	キャリアデザインⅠ	1前	2								兼1	
	キャリアデザインⅡ	1後	2								兼1	
	キャリアサポートⅠ	2前		2							兼1	
	キャリアサポートⅡ	2後		2							兼1	
	キャリアサポートⅢ	3前		2							兼1	
	キャリア実践研究	3後		2							兼1	
	キャリア実務演習	3後		2							兼1	
	情報リテラシーⅠ	1前		1							兼3 兼1	コマ数再考による変更(26)
	情報リテラシーⅡ	1後		1							兼3 兼1	コマ数再考による変更(26)
	日本語	日本語表現法A(音声)	1前・後		2							兼1
	日本語表現法B(文章)	1前・後		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全 学 共 通 科 目 群	外国語	総合英語Ⅰ	1前	1							兼3 コマ数再考による変更 (26) 兼4
		総合英語Ⅱ	1後	1							兼3 コマ数再考による変更 (26) 兼4
		総合英語Ⅲ	2前・後		1		1				兼1
		英会話Ⅰ	1前	1							兼6 コマ数再考による変更 (26) 兼4
		英会話Ⅱ	1後	1							兼6 コマ数再考による変更 (26) 兼4
		英会話Ⅲ	2前・後		1						兼2
		基礎中国語Ⅰ	2前		1						兼2
		基礎中国語Ⅱ	2前・後		1						兼1
	人文	哲学	1前		2		1				
		倫理学	3前・後		2		1				
		心理学	1前・後		2		1				
		日本史	1前・後		2						兼1
		世界史	1前・後		2						兼1
		日本文学	1前		2						兼1
		外国文学	2後		2		1				
		異文化理解	2前・後		2						兼1
		日本文化論	1前・後		2		1				
		仏教文化史	1前・後		2						兼1
	社会	憲法と基本権	1前・後		2						兼1
		社会生活と法	2前・後		2						兼1
		暮らしと経済	1前		2						兼1
		市民社会と政治	3前		2						兼1
		社会の成り立ち	1後		2						兼1
		高齢者と福祉	2前・後		2		1				
		国際事情	3前・後		2						兼1
		社会保障論	2前・後		2						兼1
		社会と福祉	1前・後		2						兼1
自然	健康と運動	1前・後		2						兼1	
	生活と環境	1後		2						兼1	
	自然と環境	1前		2						兼1	
	生命の科学	1前・後		2						兼1	
	生物学Ⅰ	1前		2						兼1	
	生物学Ⅱ	1後		2						兼1	
	化学Ⅰ	1前		2						兼1	
	化学Ⅱ	1後		2						兼1	
	物理学	1前・後		2						兼1	
	数学	1前・後		2						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
演習科目群	演習科目	基礎演習Ⅰ	1前	2			8	3		1		
		基礎演習Ⅱ	1後	2			8	3		1		
		基礎演習Ⅲ	2前	2			8	3		1		
		基礎演習Ⅳ	2後	2			8	3		1		
		総合演習Ⅰ	3前	2			8	3		1		
		総合演習Ⅱ	3後	2			8	3		1		
		総合演習Ⅲ	4前	2			8	3		1		
		総合演習Ⅳ	4後	2			8	3		1		
資格関連科目群	博物館概論	1後			2						兼1	
	博物館経営論	3後			2						兼1	
	博物館資料論	2前			2						兼1	
	博物館資料保存論	3後			2						兼1	
	博物館展示論	2前			2						兼1	
	博物館教育論	2後			2						兼1	
	博物館情報・メディア論	3前			2						兼1	
	博物館実習Ⅰ（見学実習）	3前・後			1						兼1	
	博物館実習Ⅱ（学内実習）	4前・後			1						兼1	
	博物館実習Ⅲ（館園実習）	4前・後			1						兼1	
	日本文化と文化財	3後			2						兼1	
	日本美術史	2前			2						兼1	
	日本考古学	2前・後			2						兼1	
	図書館概論	1前			2						兼1	
	図書館制度・経営論	2後			2						兼1	
	情報技術論	2前			2						兼1	
	図書館サービス概論	2前			2						兼1	
	情報サービス論	2後			2						兼1	
	児童サービス論	2前			2						兼1	
	情報サービス演習Ⅰ	3前			1						兼1	
	情報サービス演習Ⅱ	3後			1						兼1	
	図書館情報資源概論	1前			2						兼1	
	情報資源組織論	1後			2						兼1	
	情報資源組織演習Ⅰ	2前			1						兼1	
	情報資源組織演習Ⅱ	2後			1						兼1	
	情報と著作権	1後			2	1						
図書館サービス特論	3前			1						兼1		
ベストセラー研究	2前			2						兼1		
図書・図書館史	3前			1						兼1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	115	29	171	27	115	29	171	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	36,506.01㎡ 35,364.01㎡	㎡	㎡	36,506.01㎡ 35,364.01㎡				
	運動場用地	85,963.89㎡ 87,105.89㎡	㎡	㎡	85,963.89㎡ 87,105.89㎡				
	小 計	122,469.90㎡	㎡	㎡	122,469.90㎡				
	そ の 他	76,402.93㎡	㎡	㎡	76,402.93㎡				
	合 計	198,872.83㎡	㎡	㎡	198,872.83㎡		新体育館建築のため(26)		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	45,273.78㎡ (45,273.78㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	45,273.78㎡ (45,273.78㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 校舎改築のため(26)			
	52室 49室	37室 34室	20室	13室 11室 (補助職員 4人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部 心理学科			11 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	記載ミスのため(26)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	人文学部 心理学科	6554 [499] 23,847 [1,776] (6554 [499]) (23,847 [1,776])	27 [10] 90 [23] (27 [10]) (90 [23])	162 [132] 5 [5] (162 [132]) (5 [5])	273 657 (273) (657)	0 1,140 (0) (1,140)	0 36 (0) (36)		
	計	6554 [499] 23,847 [1,776] (6554 [499]) (23,847 [1,776])	27 [10] 90 [23] (27 [10]) (90 [23])	162 [132] 5 [5] (162 [132]) (5 [5])	273 657 (273) (657)	0 1,140 (0) (1,140)	0 36 (0) (36)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,539.818㎡		415 414	288,000 270,000		椅子・収納増設のため(26)			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	5,428.20㎡ 3,975.03㎡		室内プール・トレーニングジム・ダンス室				新体育館建築のため(26)		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,390千円	第2年次 1,230千円	第3年次 1,230千円	第4年次 1,230千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			完成時までの運営費は手数料収入・法人全体収入を充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東海学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	3年次人	人		倍			
経営学部									
経営学科	4	230	5	930	学士 (経営学)	1.13	平成7年度	愛知県みよし市 福谷町西ノ洞21 番地233	
人文学部									
人文学科	4	100	3	406	学士 (人文学)	1.08	平成12年度		
発達教育学科	4	—	—	—	学士 (発達教育学)	1.16	平成20年度	愛知県名古屋市 天白区中平二丁 目901番地	平成24年より学生募集停止
心理学科	4	100	2	404	学士 (心理学)	1.06	平成26年度		
教育学部									
教育学科	4	150	5	610	学士 (教育学)	1.25	平成24年度	愛知県名古屋市 天白区中平二丁 目901番地	
人間健康学部									
人間健康学科	4	—	—	—	学士 (人間健康学)	1.14	平成16年度	愛知県みよし市 福谷町西ノ洞21 番地233	平成24年より学生募集停止
管理栄養学科	4	—	—	—	学士 (管理栄養学)	—	平成16年度	愛知県名古屋市 天白区中平二丁 目901番地	平成23年より学生募集停止
スポーツ健康科学部									
スポーツ健康科学科	4	235	5	950	学士 (スポーツ健康科学)	1.23	平成24年度	愛知県みよし市 福谷町西ノ洞21 番地233	
健康栄養学部									
管理栄養学科	4	120	—	480	学士 (栄養学)	1.13	平成23年度	愛知県名古屋市 天白区中平二丁 目901番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 心理学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	青山 広 (61)	平成26年4月	自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと心理 論理と心理 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ 情報と著作権						
専	教授	河野 和明 (49)	平成26年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験 感情心理学 適応の心理学 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 調査法Ⅱ(データ分析) 動物心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	教授	奥田 達也 (60)	平成28年4月	心理学 社会心理学 心理統計法Ⅰ 調査法Ⅰ(質問紙作成技法) 集団心理学(グループダイナミックス) 産業・組織心理学 社会調査論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
兼任	教授	奥田 達也 (58)	平成26年4月	心理学 社会心理学 心理統計法Ⅰ 調査法Ⅰ(質問紙作成技法) 集団心理学(グループダイナミックス) 社会調査論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ						
専	教授	片桐 茂博 (58)	平成26年4月	哲学 倫理学 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						

専	教授	小林 幸夫 (63)	平成26年4月	日本文化論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	教授	高橋 晋也 (49)	平成26年4月	心理学基礎論Ⅰ 感覚・知覚心理学 認知心理学 調査法Ⅱ（データ分析） 実験心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	教授	宮本 益治 (61)	平成26年4月	高齢者と福祉 生涯発達心理学 コミュニティ心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	教授	森本 素世子 (58)	平成26年4月	総合英語Ⅲ 外国文学 心理学英文講読Ⅰ （基礎） 心理学英文講読Ⅱ （長文読解） 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	准教授	伊藤 君男 (46)	平成26年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	准教授	谷 伊織 (34)	平成26年4月	教育心理学 発達心理学 パーソナリティ心理学 心理統計法Ⅲ 調査法Ⅱ（データ分析） 教育評価法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						

専	准教授	三宅 理子 (42)	平成26年4月	心理学基礎論Ⅱ 学校心理学 心理診断法Ⅰ（質問紙法） 心理診断法Ⅱ（投影法） 心理療法論 家族心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
専	助教	樋町 美華 (32)	平成26年4月	臨床心理学 カウンセリング基礎 カウンセリング応用 対人関係論 面接法 健康心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ						
兼任	教授	服部 祐兒 (53)	平成26年4月	スポーツ(バスケットボール) スポーツ(ゴルフ) 日本文化(武道)						
兼任	教授	小澤 文雄 (66)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアサポートⅠ キャリアサポートⅡ キャリアサポートⅢ キャリア実践研究 キャリア実務演習 憲法と基本権						
兼任	教授	高野 春廣 (75)	平成26年4月	日本語表現法A（音声）	兼任	講師	代永 克彦 (72)	平成26年4月	日本語表現法A（音声）	担当者変更（26）
兼任	教授	加藤 孝男 (53)	平成26年4月	日本語表現法B（文章） ベストセラー研究	兼任	講師	緑川 幸成 (50)	平成26年4月	日本語表現法B（文章）	担当者変更（26）
兼任	教授	浅川 和也 (57)	平成27年4月	異文化理解						
兼任	教授	春日井 真英 (66)	平成26年4月	仏教文化史						
兼任	教授	倉橋 洋子 (67)	平成28年4月	国際事情						
兼任	教授	村松 常司 (67)	平成26年4月	健康と運動						
兼任	教授	宮崎 幸恵 (60)	平成26年9月	生活と環境						
兼任	教授	伊藤 きよ子 (61)	平成26年4月	自然と環境						
兼任	教授	河野 順子 (61)	平成27年4月	障害児心理学						

兼担	教授	太田 久彦 (62)	平成29年4月	医学概論						
兼担	教授	渡邊 里志 (52)	平成26年9月	博物館概論 博物館実習Ⅰ（見学実習） 博物館実習Ⅱ（学内実習） 博物館実習Ⅲ（館園実習） 日本文化と文化財 日本美術史	兼担	准教授	小野 佳代	平成26年4月	博物館概論	担当者変更（26）
兼担	准教授	水谷 浩志 (53)	平成26年4月	共生人間論Ⅰ 共生人間論Ⅱ 共生人間論実習A 共生人間論実習B 共生人間論実習C 共生人間論実習D 共生人間論実習E						平成26年3月 水谷浩志准教授退職のため担当者変更（26）
兼担	准教授	林 享 (39)	平成26年9月	競技スポーツⅠ						
兼担	准教授	近藤 洋子 (63)	平成26年4月	日本文学						
兼担	准教授	早野 禎二 (53)	平成26年9月	社会の成り立ち						
兼担	准教授	島田 肇 (56)	平成26年4月	社会と福祉						
兼担	准教授	村主 千賀 (47)	平成26年4月	図書館概論 図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習Ⅰ 図書館サービス特論 図書・図書館史						
兼担	助教	黒須 雅弘 (41)	平成27年9月	競技スポーツⅡ		講師				職位変更（26）
兼任	講師	金謙 蓉 (55)	平成26年4月	スポーツ（バドミントン）						
兼任	講師	安 裁漢 (48)	平成26年4月	スポーツ（バドミントン） スポーツ（テニス）					スポーツ（バドミントン）	担当科目変更（26）
兼任	講師	石村 和博 (29)	平成26年4月	スポーツ（バドミントン） スポーツ（テニス）						就任辞退（26） （バドミントン・テニスは複数コマ開講のため支障がない）
兼任	講師	樋口 憲生 (55)	平成26年4月	スポーツ（バドミントン）						就任辞退（26） （バドミントンは複数コマ開講のため支障がない）
兼任	講師	菅嶋 康浩 (53)	平成26年4月	スポーツ（テニス）						
兼任	講師	金子 美由紀 (41)	平成26年4月	スポーツ（バレーボール）						
兼任	講師	内藤 法永 (34)	平成26年4月	スポーツ（サッカー）						
兼任	講師	水野 貴正 (31)	平成26年9月	スポーツ（ソフトボール）						

兼任	講師	草薙 健太 (29)	平成26年9月	スポーツ (スイミング)						
兼任	講師	伊藤 理香 (45)	平成26年4月	スポーツ (エアロビクス)						
兼任	講師	横井 純子 (41)	平成26年4月	スポーツ (エアロビクス)						
兼任	講師	矢野 真弓 (53)	平成26年4月	スポーツ (アクアビクス)						
兼任	講師	山下 純慧 (57)	平成26年4月	スポーツ (アクアビクス)						
兼任	講師	安原 成泰 (47)	平成28年9月	競技スポーツⅢ						
兼任	講師	長谷川 鷺卿 (48)	平成26年4月	日本文化(書道)						
兼任	講師	三宅 洋子 (58)	平成26年4月	日本文化(茶道)						
兼任	講師	石田 巳賀 (47)	平成26年4月	日本文化(筆道)						
兼任	講師	西川 千雅 (44)	平成26年4月	日本文化(舞踊)						
兼任	講師	内藤 飛能 (34)	平成26年4月	日本文化(能)						
兼任	講師	窪田 徳幸 (47)	平成26年9月	日本文化(歌舞伎)						
兼任	講師	加藤 令吉 (60)	平成26年4月	日本文化(陶芸)						
兼任	講師	加藤 隆広 (52)	平成26年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼任	講師	小池 あずさ (51)	平成26年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	教育効果を考慮し開講コマ数を増加 (26)
					兼任	講師	細谷 順二 (53)	平成26年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	教育効果を考慮し開講コマ数を増加 (26)
兼任	講師	重藤 智美 (37)	平成26年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ				平成27年4月	総合英語Ⅲ	担当科目変更 (26) 就任予定年月変更 (26)
兼任	講師	北村 まゆみ (50)	平成26年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ						
兼任	講師	蟹江 弘子 (55)	平成26年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ						
兼任	講師	武田 尚子 (37)	平成26年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	兼任	講師	宮崎 尚一 (56)	平成26年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	平成26年3月 武田尚子兼任講師 辞任のため担当変更 (26)
兼任	講師	Nicholas Metcalfe (55)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ						

兼任	講師	Monaghan, Mary-Jane (60)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	兼任	講師	Michael Marshall (48)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	平成26年3月 Monaghan, Mary-Jane兼任講師辞任のため担当者変更 (26)
					兼任	講師	John H. OBrien Jr. (49)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	
兼任	講師	Mark Campbell (39)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	兼任	講師	Paul Stephen Salisbury (56)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	平成26年3月 Mark Campbell兼任講師辞任のため担当者変更 (26)
					兼任	講師	Howard Ken Higa (52)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	
兼任	講師	木田 Parvin (63)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II 英会話 III	兼任	講師	Jeffree Bondoc (32)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	担当者変更 (26)
兼任	講師	鄭 虹 (53)	平成27年4月	基礎中国語 I						
兼任	講師	高 媛 (33)	平成27年4月	基礎中国語 I						
兼任	講師	磯部 美里 (40)	平成27年4月	基礎中国語 II						
兼任	講師	安原 功 (51)	平成26年4月	日本史						
兼任	講師	芝 紘子 (70)	平成26年4月	世界史	兼任	講師	池田 正人 (53)	平成26年9月	世界史	教育効果を考慮し開講学期の変更 (26) 平成26年3月 芝紘子兼任講師辞任のため担当者変更 (26)
兼任	講師	滝 博昭 (69)	平成27年4月	社会生活と法						
兼任	講師	武長 脩行 (68)	平成26年4月	暮らしと経済						
兼任	講師	岡田 宏太郎 (55)	平成28年4月	市民社会と政治						
兼任	講師	岡崎 強 (71)	平成27年4月	社会保障論						
兼任	講師	加藤 潔 (70)	平成26年4月	生命の科学	兼任	講師	笹川 英夫 (67)	平成26年4月	生命の科学	平成26年3月 加藤潔兼任講師辞任のため担当者変更 (26)
兼任	講師	奥村 克純 (57)	平成26年4月	生物学 I 生物学 II 化学 I 化学 II						
					兼任	講師	青木 恭彦 (53)	平成26年9月	生物学 II 化学 II	担当者変更 (26)
兼任	講師	犬飼 辰広 (62)	平成26年4月	物理学 数学						
兼任	講師	石橋 平 (69)	平成27年9月	生涯学習概論						

兼任	講師	伊藤 史 (36)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	小澤 良 (45)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	後藤 伸彦 (30)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	櫻井 優太 (33)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	菅田 達也 (51)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	西山 めぐみ (29)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	波多野 文 (29)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	牧野 暁世 (34)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学特殊実験						
兼任	講師	福本 和哉 (35)	平成28年4月	学習心理学						
兼任	講師	石田 光男 (40)	平成28年4月	生理心理学						
兼任	講師	前田 洋枝 (40)	平成28年9月	環境心理学						
兼任	講師	小野寺 理江 (38)	平成28年9月	応用心理学						
兼任	講師	後藤 綾文 (29)	平成26年4月	コミュニケーション 心理学						
兼任	講師	中村 紘子 (37)	平成28年9月	行動観察法						
兼任	講師	森山 雅子 (36)	平成28年9月	行動観察法						
兼任	講師	杉本 英晴 (35)	平成28年9月	行動観察法						
兼任	講師	川島 一晃 (33)	平成28年4月	面接法						
兼任	講師	平島 太郎 (28)	平成28年4月	面接法						
兼任	講師	鯨井 秀伸 (63)	平成27年4月	博物館経営論 博物館資料論						
兼任	講師	栗田 秀法 (51)	平成27年4月	博物館資料保存論 博物館展示論						

兼任	講師	林 育正 (46)	平成27年9月	博物館教育論 博物館情報・メディア論						
兼任	講師	赤羽 一郎 (71)	平成27年4月	日本考古学						
兼任	講師	江良 友子 (50)	平成27年9月	図書館制度・経営論						
兼任	講師	櫻木 貴子 (39)	平成26年4月	情報技術論 情報サービス演習Ⅱ 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習Ⅰ 情報資源組織演習Ⅱ						

<共通>

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
					兼任	講師	齋藤 蒙光 (38)	平成26年4月	共生人間論Ⅰ 共生人間論Ⅱ 共生人間論実習A 共生人間論実習B 共生人間論実習C 共生人間論実習D 共生人間論実習E	担当者変更(26)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
8	3	0	1	12	8	3	0	1	12	教授70 それ以外65	0
(8)	(3)	(0)	(1)	(12)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
		該当なし	

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 全学教育委員会FD部会
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・ 年2回開催
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 実施内容、時期、方法等の検討

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ 授業評価アンケート
 - ・ 教員相互の授業参観
 - ・ 新任教員のための研修会
 - ・ FD研修会
- b 実施方法
 - ・ 教員相互の授業参観：年2回実施
 - ・ 新任教員のための研修会：年1回実施(4月)
 - ・ FD研修会：年1回実施(3月)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・ 教員相互の授業参観：一部の講義で実施
 - ・ 新任教員のための研修会：就任予定者に実施
 - ・ FD研修会：「本学学生への修学支援－教職員の協力体制強化のための方策－」のテーマでフォーラムを開催(平成24年度)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新任教員研修会は、就任予定者に対し、本学の「建学の理念」の理解を深める機会としている。また、授業評価アンケート・相互授業参観では、学生の意見を得るとともに、教員同士の意見交換を活発に行い、授業改善へつなげている。FD研修会では、「教養教育の在り方」「全学共通科目の在り方」など全学的に積極的な議論がなされ、本学の教員の「質保証」につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年1回実施（平成26年度は秋学期に実施予定）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員には全体の平均値及び担当科目ごとの集計結果を配付、学生には学内機関紙にて学部ごとの集計結果を公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- ・平成21年6月 自己評価報告書を刊行
- ・平成22年3月 自己評価報告書を本学ホームページ上で公表
- ・平成25年11月 自己評価報告書を刊行

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、理事会・評議員・教育後援会役員・専任教職員等に配布した。
- ・日本高等教育評価機構による認証評価結果および自己評価報告書を本学ホームページ上で公表した。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、平成22年3月24日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている。」と認定された。
認定期間は、平成21年4月1日から平成28年3月31日までの7年間。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成26年 6月 2日)